

第3号様式（第7条関係）

設計図書等に関する回答書

令和7年6月3日

二本松市長 三保 恵一
(公 印 省 略)

下記のとおり回答いたします。

記

- 1 工事（業務）番号 7 建住第4号
- 2 工事（業務）名 平石町消防屯所新築工事
- 3 質問事項及び回答事項

質問事項	回答事項
①図面番号A-28で上り框:既製品(90×90)と載っていますが、切抜設計書には載っていません。取付も含めて載せるべきだと思います。	①切抜設計書のとおりに積算願います。 施工事に協議するものとします。
②図面番号A-26では、ライニング甲板より下の壁仕上がSUS製仕上になっていますが、不燃化粧メラミン板(ア3mm)張りではないでしょうか。またガス台はバックガードが必要だと思います。 また吊戸棚上に下がり壁仕上は不燃化粧メラミン板(ア3mm)ではなくクロス仕上ではないでしょうか。(今までの屯所新築では全てクロス仕上です。)	②切抜設計書のとおりに積算願います。 施工事に協議するものとします。
③図面番号A-26では、壁掛けテレビ取付壁下地・エアコン取付壁下地が構造用合板(ア12mm)張りとなっていますが、構造用合板(ア12mm)の場合全面パテ処理(下地処理)が必要となるため、ラワン合板(ア12皿)張り下地とすべきだと思います。	③切抜設計書のとおりに積算願います。 施工事に協議するものとします。

④図面番号A-20, 28において、破風板:木25×180, 底部破風板:木25×120となっていますが、図面から見て破風板:木25×230(240), 底部破風板:木25×150でないと収まらないと思います。 ⑤切抜設計書では、和瓦葺き 役物、荷揚げ共の数量が66.3㎡と載っていますが、平瓦:㎡, 棟部七寸一本伏せ:m, 雪止瓦:m, 軒先一文字瓦:m, 袖瓦:m, 棟部七寸丸止:個, 下葺・瓦棧打ち:㎡と振り分けして数量を記載してもらわないと金額が出せません。瓦工事における内訳数量を教えてくださいませんか。 ⑥切抜設計書では植生シート7.5㎡と載っていますが、図面A-32,33では法面延長L22.4m×0.8m(法長)=17.9㎡となり植生シート面積は17.9㎡になると思います。また、切抜設計書に法面整形面積:17.5㎡を載せるべきだと思います。 ⑦図面A-33に暗渠配管の詳細が載っています。切抜設計書では、暗渠配管φ150:7.8mと載っています。暗渠配管φ150単価には暗渠管(有孔管)φ150及び吸出し防止材布設及び単粒碎石(20~30mm)敷設そして根切り及び残土処理まで含めての単価でみるべきですか。また、暗渠配管の場所が図面上に見当たりません。どの場所か教えてください。 ⑧旧消防屯所及び火の見櫓解体後に山砂又は碎石等による整地が必要かと思えます。整地に於ける内訳を教えてください。	④設計図書のとおり施工願います。 ⑤切抜設計書の単価構成は役物を含んだものとなっております。 役物数量については、設計図書より積算願います。 ⑥切抜設計書のとおり積算願います。 施工事に協議するものとします。 ⑦切抜設計書の暗渠配管φ150:7.8mは配管材、吸出し防止材および単粒碎石を含んだものとなっております。 盛土造成する箇所のため、根切りおよび残土処理は不要です。 暗渠配管の施工場所については、敷地南側の集水桝から敷地東側の道路側溝までの区間となります。 ⑧旧消防屯所および火の見櫓は、基礎天端から上部の解体範囲となりますので解体後の山砂又は碎石等による整地は不要です。
--	--

⑨図面A-15に井戸解体の現況図が載っています。切抜設計書では井戸撤去(蓋共): 1か所と載っています。井戸コンクリートはH=4m全て解体処分及び埋戻し(山砂)を見るべきですか。	⑨質問のとおり、井戸コンクリートはH=4 m全て解体処分及び埋戻し(山砂)として積算願います。
--	--

事務取扱／総務部 財政課 契約係

Tel 0243-55-5082 (直通)